



いよいよ開通。ワクワクしますね。

2003年8月、沖縄で戦後初の鉄道となる沖縄都市モノレール「ゆいレール」が開通しました。ゆいレールの「ゆい」は「ゆいまーる」の略で「結びつき」「めぐる」という意味があります。

地域を結び、人と人をつなぐゆいレールは開業から16年になり、03年度に750万人だった乗客数が18年度には1906万人に増え、県民のみならず、今や観光客の足として欠かせない存在になっています。

那覇空港駅と首里駅間で開通したゆいレールは、10月1日、現在の終着駅である首里駅の先に「石嶺駅」と、浦添市に初めてのモノレール駅「経塚駅」「浦添前田駅」「てだこ浦西駅」が新たに加わります。終着駅であるてだこ浦西駅の隣には約1000台収容できる「パーク&ライド」駐車場が設けられ、沖縄自動車道と接続します。那覇市内はモノレールや路線バスで移動し、中北部への移動はてだこ浦西駅からレンタカーを活用し、高速道路で移動するという新しい交通拠点になることが期待されています。

モノレールは高い所から遠くの景色を楽しめるのも魅力の一つ。通勤や通学などの移動手段に使うだけじゃもったいない。沖縄の魅力や文化を見たり聞いたり感じたり、浦添の駅から空中散歩に出かけてみませんか。



①浦添市への玄関口経塚駅。発車オーライ！②高いところから見る景色は絶景です。



①市内中心部にある浦添前田駅。観光客をおもてなし。②地下トンネルは約600メートル。結構長いぞ。③駅内。浦添のステーションカラーの紫が映える。

浦添前田駅 歴史・文化施設への 入り口に

周辺には浦添グスク、てだこホール、浦添市美術館などがあり、観光客の文化施設や行政施設へのアクセス駅として機能。また全国のモノレールでも珍しい「地下トンネル」があることも注目です。



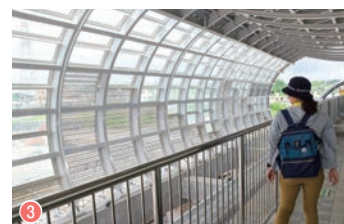
ゆいレール 那覇市ー浦添市延長

2019年10月1日開業！

いよいよ浦添市まで区間が延長され、ますます便利になる沖縄都市モノレール「ゆいレール」。今回の特集では延長される浦添各駅舎の情報と、ゆいレールをもっと楽しむための豆知識などを紹介します。



①唯一の地上駅であるてだこ浦西駅。外観も他とは一味違います。②パーク&ライド駐車場。10月完成予定。③ガラスの屋根が印象的。暖かい日差しが差し込みます。



てだこ浦西駅 中北部と交通・交流の 広がりを期待

新しい終着駅であるてだこ浦西駅は、沖縄自動車道の目の前にある駅で、高速道路から車で来てモノレールを利用することができる「パーク&ライド」駐車場がオープンします。駅周辺には大型商業複合施設の建設も予定され、中北部との交通・交流の広がりが期待されます。



KYOZUKA



URASOE-MAEDA



TEDAKO-URANISHI